

近畿版

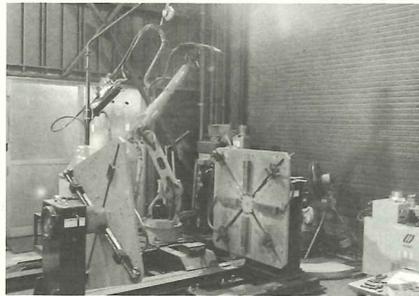
大阪支社
 大阪市西区西本町
 1-14-3 〒550-0005
 TEL 06-6536-2601
 FAX 06-6536-7603

計画的に設備を更新

昨年は新型溶接ロボット

トウジ工業(京都)

京都府のHグレードファブ、トウジ工業(久世郡久御山町佐山中道、山本弘社長)は近年、複数年計画で設備を更新し、加工の効率化に取り組んでいる。昨年は、神戸製鋼所のコア連結溶接ロボットシステムをレグアーク対応型に更新した。従来機は、使用が十数年となり老朽化が進んでいたため、不具合の発生リスク回避のために入れ替えたものだが、REGARK対応の新型機を採用することで、溶接品質の安定化



▶更新した溶接ロボット

も図った。そのほか、ここ数年で新しい機器は、アマダマシンツールの形鋼バンドソー「HK 1000CNC」、ドリルマシン「6BH-1000Ⅲ」、寿海工業のシ

ョットプラスト機で、状態や工程計画などを見ながらほぼ1年に1台ずつ段階的に更新してきた。同社は、受注物件の鋼材一次加工を

ほとんど自社で実施しているため、そのあとの工程に影響が出ないように複数年計画での設備更新を実施している。

最近のおもな受注物件は、近畿地区の物流倉庫や工場事務所ビルなどで物件規模は数百〜1000トで推移している。

切断と開先加工機を更新

サイズと速度の強化図る

小田鉄工(兵庫)

兵庫県のMグレードファブ、小田鉄工(加西市鴨谷町655、小田岳人社長)はこのほど、一次加工の高速化などを目的に形鋼用切断機と開先加工機をリプレイスした。

導入機は、アマダマシンツールの形鋼用切断機「HK-1000CNC」とハタリーの開先加工機「FVK-20S」で、従来機の老朽化による加工速度減退の解消を目的にしたもの。

導入機は、アマダマシンツールの形鋼用切断機「HK-1000CNC」とハタリーの開先加工機「FVK-20S」で、従来機の老朽化による加工速度減退の解消を目的にしたもの。

「大型バンドソー切断機導入による、橋梁用鉄骨生産体制の強化」を行うとして申請した。

神東建設工業(兵庫) 認定「AAA」を取得 矯正機も1台新設

兵庫県の骨製作管理技術者1級(2名)やWESI級(2名)などの資格は取得しており「書類関係の再整備に時間をかけ、板厚60ミまでサブマージアーク溶接の実績を積み上げていくためのテストピースによるデータの蓄積、知識を増やすための勉強区分「A



山根社長

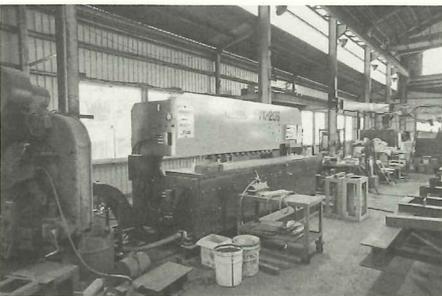
「AAA」を取得した。認定取得の準備は1年半前からスタート。それ以前の段階で、認定に必要な鉄

強会などを開催し、審査に備えた。今回の取得を通じ、改めて溶接技術の奥深さを知った(山根社長)という。認定取得と並行して、ここ2年でタンデム機を1台、クレーン関係3基を更新し、矯正機を1台新設。一般のBH製品に加え、耐震補強工事関連や船舶向け部材、立体駐車場向け、ビルトアップ、ビルトアップ、ビルトアップ、ビルトアップの両端部加工品など幅広い対応とこまめな受注スタ

イルを作り上げており、月産800ト体制を堅持する。今後は、AW関係の資格取得や溶接関連、新基準類の勉強会の継続的な開催などを挙げ「創業時から、営業は人ではなく、製品そのもので顧客に満足を与えるなら必ずリピートしていただけ」と信じている。ものづくり企業として、社員一人ひとりが職人としてのプライドを持つことが大切(同)と力説する。

導入機は、アマダマシンツールの形鋼用切断機「HK-1000CNC」とハタリーの開先加工機「FVK-20S」で、従来機の老朽化による加工速度減退の解消を目的にしたもの。

「大型バンドソー切断機導入による、橋梁用鉄骨生産体制の強化」を行うとして申請した。



大型開先加工機「FVK-20S」